

令和4年度第2回総合隣保館運営委員会会議録

1 日時 令和4年7月22日（金）午後7時～午後8時

2 会場 三木市立総合隣保館 1階大会議室

3 議題

(1) 報告事項

- ・令和4年度総合隣保館事業実施状況
- ・令和4年度総合隣保館利用状況

(2) 協議事項

- ・第39回総合隣保館文化祭について
- ・人権フォーラムについて

4 公開・非公開 公開

5 傍聴人の数 0人

6 発言の内容

【委員長】

それでは協議事項の一つ目、第39回総合隣保館文化祭（案）について事務局より説明を求める。

【事務局】

（報告事項を報告後に、協議事項の一つ目の第39回総合隣保館文化祭（案）について説明）

【委員長】

まず、記念講演の開催場所について。去年の市民活動センターを吉川町公民館に変えた理由は。同じ所ではない方がいいか。

【事務局】

舞台の整い具合が理由の一つ。観覧席が傾斜に段々と配置されており、後ろに行くほど上がっており見やすくなっている。加えて会場準備にかかる時間が短いこともある。

また、市民活動センターだと駐車場が散らばり、誘導に10名ほど人員が必要になる。その点、吉川町公民館だとそういった問題が解消される。それらを考慮して吉川町公民館が適切かと考えた。

ただ、位置的には市民活動センターの方が集まりやすい。それを含めてご意見をお願いします。

【委員長】

委員に意見を求める。

【事務局】

例えば、「遠方になるな」と思う方があれば、開会に合わせてマイクロバスを運行するといったこと考えている。

【委員長】

いかがか。

【委員】

（意見・質問等なし）

【委員長】

では、場所に関しては、吉川町公民館で開催ということにする。細か

なことについては、（文化祭）実行委員と相談することにして。次に日程・内容について、今年は杉の子のステージが増えた。

【事務局】

まだ、正式に依頼していないが、予定している。

【委員長】

記念講演の講師の方にはもう了解済か。

【事務局】

とても意欲的な返事をいただいている。

【委員長】

隣保館の大会議室が作品展示で、クイズラリーなり、今年は「まち中の人権」や「2枚の絵を見て間違いを探す」など、ただ展示を見るだけでなく何か工夫が必要ではないか。

【委員】

今年志染中学校は緑が丘中学校と統合された。緑が丘中学校がこの文化祭に何らかの形で参加するというのが、非常に意義があるのではないかと思う。

トライやるウィークで隣保館にくる予定の子どもたちが、何か作品を作ってみるとか。

展示だけでなく、開会行事の時に何か音楽関係や放送関係でお手伝いするとか。

【事務局】

昨年度も緑が丘中学校からトライやるウィークにきていただき椅子のカバーや展示作品を作ってもらった。また何か具体的にこんなことできるかなど、お話の場をいただけたらと思う。

【委員】

今言われた内容であれば、十分可能だと思う。どのようなことができるのか相談して考える。部活動関係でも、学習のことも、何かできると思うから学校として考える。

【委員長】

3つ目の事項、テイクアウトについて。これについてはどうするか。

【委員】

テイクアウトは止めておいた方がいいと思う。作るにあたって感染を絶対にしていないという証明が必要になる。

また、現在7月ではあるが、冬になるとインフルエンザも流行るおそれがあるため、非常に残念ではあるが、コロナとダブルになることを考えると、極力食べ物や飲み物は用意しない方がいいと思う。

【委員長】

飲食について今年はまだ我慢することにする。その代わりではないですが、お楽しみクイズ等で工夫をするとか。

【事務局】

福引だけではないが、それに代わるようなものを何か、館内を回るも楽しいし。吉川町公民館と隣保館の2か所でするのは難しいので、展示を見に来られた来館者にクイズをしてもらい福引をしてもらうというこ

となら、楽しんでいただけたらと思う。

11月30日からずっと福引もして、ここなら少しずつ人が訪れるから混雑もしないと思う。

【委員】

送迎のバスについて、実績はどれくらいか。何人くらい乗っていたのか。

【事務局】

去年は10数人。吉田公民館集合で、吉田から行く皆さんに乗っていただきました。

今回は吉田の方だけでなく、三木市の西側にお住いの方には隣保館まで来ていただいたら、そこからバスに乗って行くというのも一案かと思う。

また、ここでの集合なら出発の時間までに、早めに来られると思うので展示を観賞してから、行けると思う。

【委員】

吉川町公民館のホールの収容人数は何人くらいか。

【委員】

大ホールの定員は400人。

【事務局】

そうすると、現在コロナの関係で席を間引いて、一つ飛ばしの座席にしていますから200名となる。

【委員】

換気に関してはどうか。

【事務局】

窓やドアを全部開けることができるので問題はないと考える。

【委員】

コロナに対しての環境というか、どこまで制限があるのか、これから先、国の方針がどうなるのか、仮に増えても放置するのか。

【事務局】

そういった状況になり検討しなくてはいけない時は、再度考える必要があると思う。

【委員】

また、まん延防止重点措置とかが出た時は考えないといけないと思うが。

【事務局】

もちろん状況によっては、中止や延期もあり得ることは仕方ないと思う。ただ、今考えるのはまだ早と思う。

【委員長】

誰も先のことは読めないなので、できるのならこういうやり方でやろうと、でもコロナのまん延の状況等によっては中止等もある、といったことも隅っこに置きながら、やはりできる範囲でやれることをやるっていうことでもいいか。文化祭の実行委員会は、まだだいぶ先である。

【事務局】

今後の日程等につきましては、後日連絡する。

【委員長】

では、協議事項の2つ目。人権フォーラムについて事務局からご説明を求めます。

【事務局】

(協議事項の2つ目、人権フォーラムについて資料に基づき説明)

【委員長】

事務局案があったが、他にも「こんな方がいるよ」とかあるか。

【委員】

橘田議長に話をしてもらうならフォーラムでは時間が短いと思う。

【委員】

フォーラムは、一人の発表時間が短い。

【事務局】

一人約15分程度。思いや経験を15分ほどお話してもらおう。この場でも結構なので、事務局に電話やご意見をいただけたら嬉しい。

議長は同和教育セミナーでの講演の方がいいというご意見であると承知した。

【委員】

本人がどちらもしゃべってもいいと言ってくれたら発表してもらったらいと思う。

【委員】

発表時間が15分では短い人もいるだろうから30分くらいにするとかはどうか。

【委員】

少しでも予定時刻より早めに終わるとより充実した気分で帰れると思う。

【事務局】

今年の同和教育セミナーで1回だけ予定時刻を超えた回があった。どれだけ良い講演内容であっても、時間が超えてしまうと台無しになってしまうので、気をつけるべき点であると思う。

【委員長】

最近では身近に同和教育問題を学習する機会がないように思う。人権問題は取り上げられているけれど、日常の中では同和教育のことや部落差別のことが語られなくなっているように思います。そういうところにも踏み込めないかと少し思った。

【事務局】

(委員長に) そういった経験や思いをフォーラムで話していただけませんか。

【委員】

フォーラムやセミナーにしても、来場者の参加回数についてアンケートやデータはとっているか。加東市ではポイント制にしており、参加回数が規定回数に達したら品物をプレゼントしている。こういったことを三木市でも取り入れることも大事だと思う。

【事務局】

三木市でも過去には取り入れていたことがあった。1人2人ではあるが毎回来てくださる方もいるため、方法を考えて取り入れたいと思う。

【委員長】

他にフォーラムについて、何か意見は。個人名ではなくとも、こういったジャンルがあるとか。

【事務局】

フォーラムも長年ずっと続けてきているので、発表者を探すのがとても大変になってきている。ぜひとも、思いつかれた時でいいので、連絡いただけたら交渉してみる。よろしく願います。

【委員長】

では、フォーラムについて、適当だと思う人を思いだされたら連絡方よろしく願います。

次に今後の予定について事務局より説明を求める。

【事務局】

(予定について、簡潔に説明・・・8月20日(土)開催の市民じんけんの集い、10月8日(土)実施のたつの市でのフィールドワーク、10月23日(日)総合隣保館が県研のサテライト会場になること等を連絡)

【委員長】

これで本日の委員会を終了するす。

【副委員長】

(閉会あいさつ)

※ 運営委員会後、諸般の事情により記念講演会の会場は市民活動センターに変更になった。